

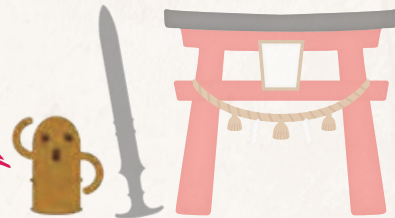
昔々の そお市

むかしむかし

郷土を知る

社会教育課 文化財係 ☎ 099-482-5958

第21回



鬼追いと光明寺

深

川熊野神社の鬼追い（県指定文化財）は、毎年1月7日の夜に実施されます。

当日は、御幣を纏った三人一組の鬼が3匹（男鬼・女鬼・子鬼）登場し、鉦や空砲、独特の囃子が鳴り響く中、人々を追いかけて、櫓棒で叩いて暴れ回ります。叩かれてコブが出来ると縁起がいいとされます。招福除災の鬼でもあり、激しく暴れば暴れるほど、良い年になるといいます。いつからか御幣をもぎ取ると縁起がいいとされ、鬼と人とのせめぎ合いが展開、正に奇習と呼ぶにふさわしい祭りです。

元々鬼追いは、修正会にともなう仏教行事で、光明寺というお寺（仁王像付近）で実施されてきました。かつては福壽院、橋本坊、竹之内坊、松本坊、寶光坊、南坊といった建物が並び立つ寺院でした。修正会とは、毎年正月に行われる法会で、前年を反省して悪を正し、新年の国家安泰、五穀豊穰などを祈願するものです。往時は、寺に属していた僧侶（法

師）が、修正会やその他様々な呪師芸を伝承していたと考えられます。しかし、江戸時代後期には寺も衰退、呪師の作法も簡略化されていき、そして明治の廃仏毀釈で廃寺となり、鬼追いも断絶しました。その後、悪疫が付近に流行したため、地元の青年達により熊野神社境内で再開されましたが、この際、光明寺時代と比べ一層の省略が進んだと思われます。

しかし、本質的なものは損なわれることなく、現在に継承されています。修正会では、鬼の作法がいくつかありますが、ここの鬼は、乱声型（杖や棒で床を打ち、鉦、法螺貝や喚声をあげ、悪魔を払おうとするもの）・鬼走型（鬼の仮面を付けて反閤を踏み、走り踊るもの）の形を残しており、これらは光明寺時代の様子を今に伝えるものと考えられます。

今年も1月7日に実施されます。新年の始まりは、悪疫退散の祈願もかねて、県内では他に例をみない光明寺の流れを汲む独特の奇習を是非、ご覧ください。



曾於市ホームページ「熊野神社の鬼追い」



探して
います！



現在、確認されるものでは、昭和38年が最も古い写真です。もし古写真などをお持ちの方は、どうぞお知らせください。